

## 西海警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和6年1月25日（木）13時30分～14時45分
場 所	西海警察署講堂
出 席 者	1 協議会 岳野会長 中尾委員 加藤委員 中坂委員 永野委員 2 警察署 奥野署長 松竹谷副署長 荒木刑事生活安全課長 前田交通課長 3 書記 警務係長
会 議 の 状 況	1 令和6年西海警察署業務運営重点について 署長から、令和6年における西海警察署業務運営重点について、長崎県警察における基本姿勢及び令和6年運営指針に基づいて業務を推進する旨説明があった。 (1) 長崎県警察における基本姿勢 県民の期待と信頼に応える力強い警察 ～安全で安心な長崎県をめざして～ (2) 令和6年運営指針 ア 犯罪から県民を守る総合的な取組の推進 イ サイバー空間の脅威への的確な対処 ウ 悪質・重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進 エ 交通死亡事故・重傷事故抑止対策の推進 オ 治安情勢の変化や緊急事態への的確な対処 カ 活力に満ちた魅力ある職場環境の確立  2 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会における提出意見である「ニセ電話詐欺被害防止対策の継続的な推進」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1) ニセ電話詐欺被害の認知状況 (2) ニセ電話詐欺被害防止対策の継続的な推進 ア 関係機関との協力体制の構築 (ア) 西海地区金融機関防犯協会総会において講話を実施した。 (イ) 西海市内郵便局長会議において講話を実施した。 (ウ) コンビニエンスストアに対し継続した協力依頼を行った。 イ ナンバーディスプレイ等無償化の広報活動を実施した。 ウ 防災無線を活用した広報活動を実施した。 エ 各種防犯キャンペーンを実施した。 オ 四コマ漫画（詐欺の手口）を記載した地域課即報を作成し配布した。 カ 当署所有のニセ電話詐欺撃退機23台の内14台を貸し出した。  3 諮問テーマへの協議会の答申に対する推進状況について 署長から、前回協議会の諮問テーマ「警察活動関係者との連携の在り方」について、令和5年12月6日、西海警察署講堂において警察協力団体8団体と西海警察署幹部7人が参加する警察協力団体連

	<p>携会議を開催し、今後、更なる連携を図っていく旨説明があった。</p> <p>4 令和5年10月から12月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 各種犯罪抑止対策の推進 ア 金融機関強盗訓練の実施 イ 各種防犯キャンペーンの実施     (ア) 年金支給日に伴う防犯キャンペーンの実施     (イ) 七釜ロードレースにおける防犯キャンペーンの実施 ウ コンビニエンスストア・金融機関に対する警戒活動の強化</p> <p>(2) 交通事故防止対策の推進 ア 令和5年中の交通人身事故発生状況 イ 交通事故防止対策     (ア) 交通安全教室の開催     (イ) 交通安全パレードや交通安全チラシ配布等による交通事故防止の呼び掛け     (ウ) 街頭活動の強化 ウ 令和5年10月から12月の交通人身事故発生状況</p> <p>(3) 国際テロ等の未然防止対策 ア 沿岸警戒の強化 イ 関係機関との連携</p> <p>(4) コンビニエンスストア、金融機関等に対する警戒活動の強化 ア コンビニエンスストアに対するよる立ち寄り警戒 イ 金融機関等に対する立ち寄り警戒 ウ 緊急配備訓練</p> <p>5 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 窃盗被害予防対策の推進 (2) 交通事故防止対策の推進 (3) 管内に居住する外国人に対する防犯指導等 (4) 街頭活動の強化</p> <p>6 速度取締り指針について 交通課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 西海警察署の速度取締り重点 (2) 西海警察署管内における交通人身事故の実態 (3) その他の交通指導取締り要点</p>
提出意見	<p>1 ニセ電話詐欺被害防止対策の継続的な推進について ニセ電話詐欺に関しては、今後も新たな手口等が出てきて継続的な被害防止対策が必要だと思われることから、ニセ電話詐欺被害防止対策を継続的に推進してもらいたい。</p> <p>2 行政との連携強化について 西海市民の安全を守るためには、西海市役所などの行政機関との連携強化が必要と思われることから、行政との連携を強化してもらいたい。</p>